

異動者からの一言

副場長 北山進一

〒061-1433 恵庭市北柏木3丁目373番地

TEL 0123-32-2135, FAX 0123-34-7233

E-mail: kitayamas@fishexp.pref.hokkaido.jp

この度、4月1日付けの人事異動で、行政職は総務課会計主査の遠藤龍彦さん、同じく会計担当の神戸沙織さん、それに私の3名が新しく水産孵化場の一員として勤めさせていただくこととなりました。どうぞよろしくお祈いします。

さて、私は岡山市の高校を卒業後、東京での学生暮らしを経て、昭和52年に道職員となりました。

初任地は釧路支庁の水産課で、水産物の流通加工や漁協金融、漁業の許認可事務などを担当しました。

当時は米ソの200海里水域設定直後で、漁場を求めて沖合へ遠洋へと進出していった北洋漁業にとり、大きな変革の時代でした。

この釧路と次の勤務地である札幌でそれぞれ5年間暮らした後は、ほぼ2年の間隔で勤務地や部署が変わり、網走市、泊村、函館市、江差町、稚内市など様々な港町と札幌との間を行き来し生活しました。

釣り好きの親や親戚の影響を受け、子供の頃から魚が大好きで、採用時には水産研究職員として、水産試験場や水産孵化場での勤務を希望していました。

結局、その希望はかないませんでした。職員生活も終盤となって、稚内水産試験場やこの孵化場にも勤めることができ、とても幸運だと思っています。



写真1 後志支庁管内某河川

一方、趣味の世界では魚とのつきあいを長くさせてもらっており、カレイが岸寄りする春先は港の岸壁や防波堤で投げ釣りを楽しむとともに、野山の新緑が鮮やかになる頃からはイワナやニジマス求めて渓谷に

分け入っています。特に大型ニジマスの強烈なファイトに魅せられ、週末になれば、自分で巻いた大きなドライフライを喰える魚の姿を妄想する始末です。

また、厳寒期には石狩方面の湖沼や河川に出かけ、テントの中で氷下のワカサギ釣りも楽しんでいます。

近年、年のせいか溪流を歩いてよく転ぶようになるなど、足腰の衰えがとても気になるようになり、3年ほど前からトレーニングのため、夏山登山やジョギングを始めました。

山には気候の良い時期に月一回程度出かけるのですが、利尻山、天塩岳、羅臼岳、斜里岳、暑寒別岳、雄阿寒岳などの名山登山も経験しました。山頂から見渡す絶景に歓喜の声を上げた山もありますが、濃霧や降り続く雨に泣かされた山もあります。



写真2 羅臼岳頂上

体力維持のために始めた登山ではありますが、登山道沿いに咲き誇る高山植物や色とりどりに広がる紅葉に心惹かれたり、さらに登頂に成功した時の達成感言葉には言い表せないほどで、釣りのほかにいたいへん素晴らしい時間が持てるようになりました。

そもそも、私が北海道に移り住んだきっかけは季節がはっきりし、豊かな自然とそこに暮らす生き物たちに魅せられたからであり、孵化場の仕事はその環境を守ることに大きく貢献していると考えています。

ここ数年は、社会情勢がめまぐるしく変化し、北海道の行財政も大幅な見直しが進められてきました。特にこの一年は我々研究機関にとって独立行政法人化に向けた最後の準備期間となりました。

皆様ともども、これから厳しい試練に向かっていくこととなりますが、北海道の水産を支えるサケ・マス資源の維持増大や、地域の特色ある内水面漁業の振興、さらには大好きな北海道の素晴らしい自然環境の保全に少しでもお役に立てればと思っています。

(きたやま しんいち:副場長)